大阪市立

鴫野小学校

郵便番号	536−0014
所在地	城東区鴫野西4丁目11−48
電話番号	(06)6961−4313
FAX	(06)6961−4569
校長名	崎本 靖朋

【 概 要 】 創立92周年となり、新しい歴史を紡ぐとともに、地域の熱い愛情に支えられた緑豊かな学校です。学校は地域の中央に位置しており、隣の鴫野グランドとともに、地域のコミュニティーセンターとしての役割も果たしています。

【教育目標等】 校訓「こころのふるさと　のびゆく鴫野」
教育目標「自分を大切に　他の人も大切に」

【主な沿革】 昭和8年鴫野尋常小学校として開校。昭和55年現在の校舎に移転。

運営に関する計画《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

①小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上を維持する。

②令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合を令和3年度より増加させる。

③令和7年度の学校アンケートで「自分にはよいところがある」の項目で最も肯定的な「そう思う」の割合を令和３年度より向上させる。

④令和7年度の学校アンケートで「あいさつをしっかりしている」の項目で、最も肯定的な「そう思う」の割合を令和３年度より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

①令和７年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50％以上にする。

②令和７年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85％以上にする。

③令和７年度の学校アンケートで「すすんで勉強している」の項目で「そう思う」という肯定的な割合を、65％以上を維持する。

④令和７年度の学校アンケートの「食に関する興味関心」の項目で、肯定的な回答の割合を、80％以上にする。

⑤小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を83％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

①授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50％以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

②令和７年度の小学校学力経年調査における「正しいキーワードを入力して、知りたいことをインターネットで調べることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90％以上にする。

③令和７年度の小学校学力経年調査における「コンピュータを使って、写真や図を用いたスライドを作ることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70％以上にする。

④令和７年度までに「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準１を満たす教員の割合を50％以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

国語、算数の調査対象教科において、国語は大阪市平均を下回ったものの、算数は大阪市平均と全国平均を上回り、令和5年度よりも数値が大きく向上した。

	国語	算数
本校平均正答率	64%	64%

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

学力向上に向けて、日常的な指導とともに、体験的な活動や交流活動を取り入れることにより、成果を上げてきた。今後も学びの充実感が味わえるように取り組みを進めていく。中学年と高学年において、理科等で専科制の指導を行っている。また教科、単元により一部教科担任制も行い、近年はICT機器も活用した、きめ細かな指導を行った結果、「わからない」「できない」という児童は減少した。今後も、教職員研修の充実等により、指導力を向上させて指導の工夫や「わかる」と実感できる授業を目指す。

本年度は校内での教職員による研究教科を算数に設定し、1年間を通して研究や研修を深め、算数科の基礎基本の定着を図る取り組みを行う。また、応用力を問われる問題にも対応できるように粘り強く指導・支援していく。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.31	18.15	31.66	36.10	42.03	9.63	160.67	19.92	49.82
女子	14.06	16.54	39.83	34.23	29.88	10.46	155.44	10.49	50.18

体力合計点の平均は、男女ともに全国・大阪市の平均よりも低くなっている。一方で、種目別に見ると、男女で立ち幅跳び、女子で長座体前屈が全国・大阪市の平均よりも高くなっている。質問紙における「運動やスポーツが好きですか」の項目に対して、肯定的に回答した児童の割合は男子が97.5%、女子が72.3%となっており、男子は全国・大阪市の平均を大きく上回ったが、女子は大きく下回った。ただし、女子の「体育の授業は楽しい」の項目における肯定的な回答は80%で、全国・大阪市の平均と変わりない結果となっていた。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が12.9%、女子が38.9%となっている。どちらも全国・大阪市の平均を上回っているが、特に女子で大きく上回る結果となっている。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

体力テストに向けた取り組みや「かけあし週間」「かけあし大会」「大なわ大会」を学期に1回は実施したことにより、児童の運動に対する興味・関心は高くなってきている。特に、4月に行った体力テストに向けた「体力アップ運動チャレンジ」は1～6年生まで幅広く効果があった。運動委員会が中心となって「反復横跳び」や「立ち幅跳び」の基本的な動きに慣れたり、「20m走」や「30秒登り棒につかまる」の取り組みで、楽しみながら体を動かしたりしている児童が多く見られた。また、「かけあし大会」に向けた「かけあし週間」、体育の持久走の取り組み、「大なわ大会」に向けた練習等を通して自主的に体を動かす児童が増え、目標をもって体力向上に取り組んだ児童が増えたのではないかと考える。高学年になればなるほど休み時間に外に出て体を動かす児童が少なくなる傾向にあるが、体を動かしたいと思えるような取り組みの実施、声掛けをしていくことが今後の課題である。

【 主体的に学ぶ子（知）】

鴫野小学校では、昨年度から算数科の研究に取り組んでいます。令和6年度の全国学力学習状況調査において全国平均を上回る結果が得られたように着実に成果が表れています。今年度もこれまでの研究を生かして算数科を研究科目とし、授業の様々な場面において積極的に「交流活動」を取り入れながら学び合い、高め合いながら、基礎・基本の定着を図っていきます。その他の教科の学習にも、「交流活動」を多く取り入れ、児童の主体性を高めながら、学習活動を行っていきます。

3学期には隔年で学習発表会や作品展を実施し、学習したことを表現し発表する機会を設けています。今年度は2月に作品展を予定しております。

【 みんなで仲良く助け合う子（徳）】

鴫野小学校の児童会活動は、全校児童を45班の「ファミリー」と呼ばれるたてわり班に分けて、他学年と交流をしています。毎週木曜日の児童集会で一緒にゲームを楽しんだり、例年春の「大阪城オリエンテーリング」で一緒に散策したり（本年度は万博の遠足のため実施せず）、秋の「ハッピーフェスティバル」で各学級が工夫を凝らした「お店」を回ったりと、他学年との絆を深めています。

入学を祝う会や卒業を祝う会などの児童会行事を、各委員会の代表を中心とした「鴫会（代表委員会）」のメンバーが企画、準備、進行しています。

また、「ピア・サポート」を取り入れた学級や学年、異学年集団の育成に取り組んでいます。

【 健やかな体をつくろうとする子（体）】

全校行事として、「なわとび週間」や「かけ足週間」を行っています。「なわとび週間」では、新しい技に挑戦したり、記録をのばしたりして、意欲的に取り組んでいます。「かけ足週間」では、決められた時間の中を最後まで走り続けることを目標として、全校児童でかけ足をする時間を設けています。11月には「かけ足大会」も開かれています。

その他にも学年ごとにドッジボール大会などを行い、年間を通じて楽しみながら、運動に親しむ活動を行っています。

【 地域との活動 】

登下校の際には、保護者や地域の方々による「見守り隊」が児童の安全を見守ってくれています。

地域の取り組みで、毎週水曜日と土曜日に「鼓笛隊」の練習があり、児童がトランペットや太鼓、鍵盤ハーモニカなどの楽器の練習をしています。練習した成果を「城東区民祭り」、「敬老会」その他様々な行事で発揮します。

地域で催される鴫野カーニバルや町民大運動会も子どもたちが楽しみにしている行事です。また、3年生では地域の方から昔の鴫野の様子について話を聞き、学ぶ機会もあります。

学校案内図 （18ページもあわせてご覧ください）